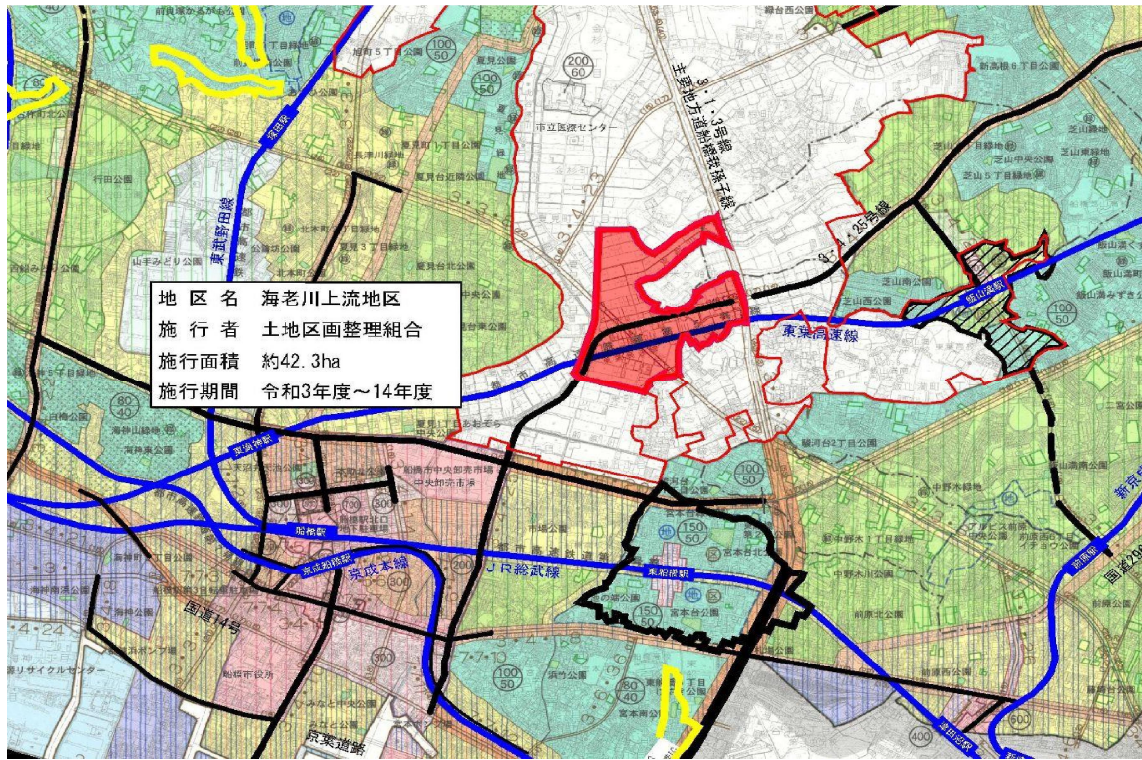


# 追加土壌調査について

## 1. 位置 図



## 2. 目 的

### 2-1. 目的

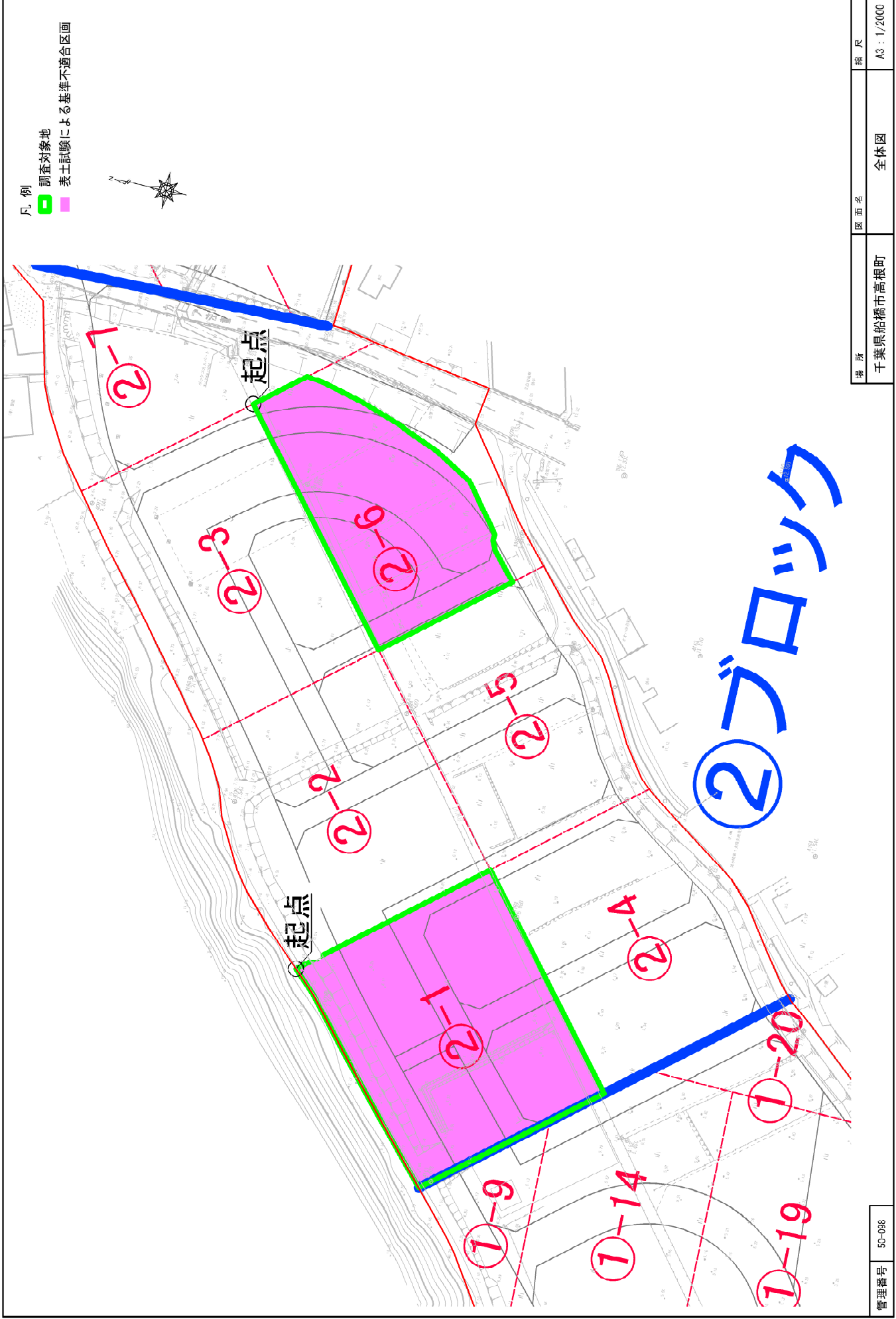
本調査は2ブロックにおいて、「船橋市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に準じ土壌の汚染防止について混合分析試料を用いた表土試験により鉛の溶出量が基準値を超過したためより詳細な基準不適合範囲を特定するために追加調査を行うものである。

### 2-2. 協議

土壌調査するにあたり、本計画書に記載されていない事項で問題が生じた場合、又は、土壌調査を実施する位置・深さについて調査不能な場所が生じた場合は、協議の上公正な第三者調査機関の監理のもと施工するものとする。

## 3. 計 画 図 面

次項に本計画図面を示す。

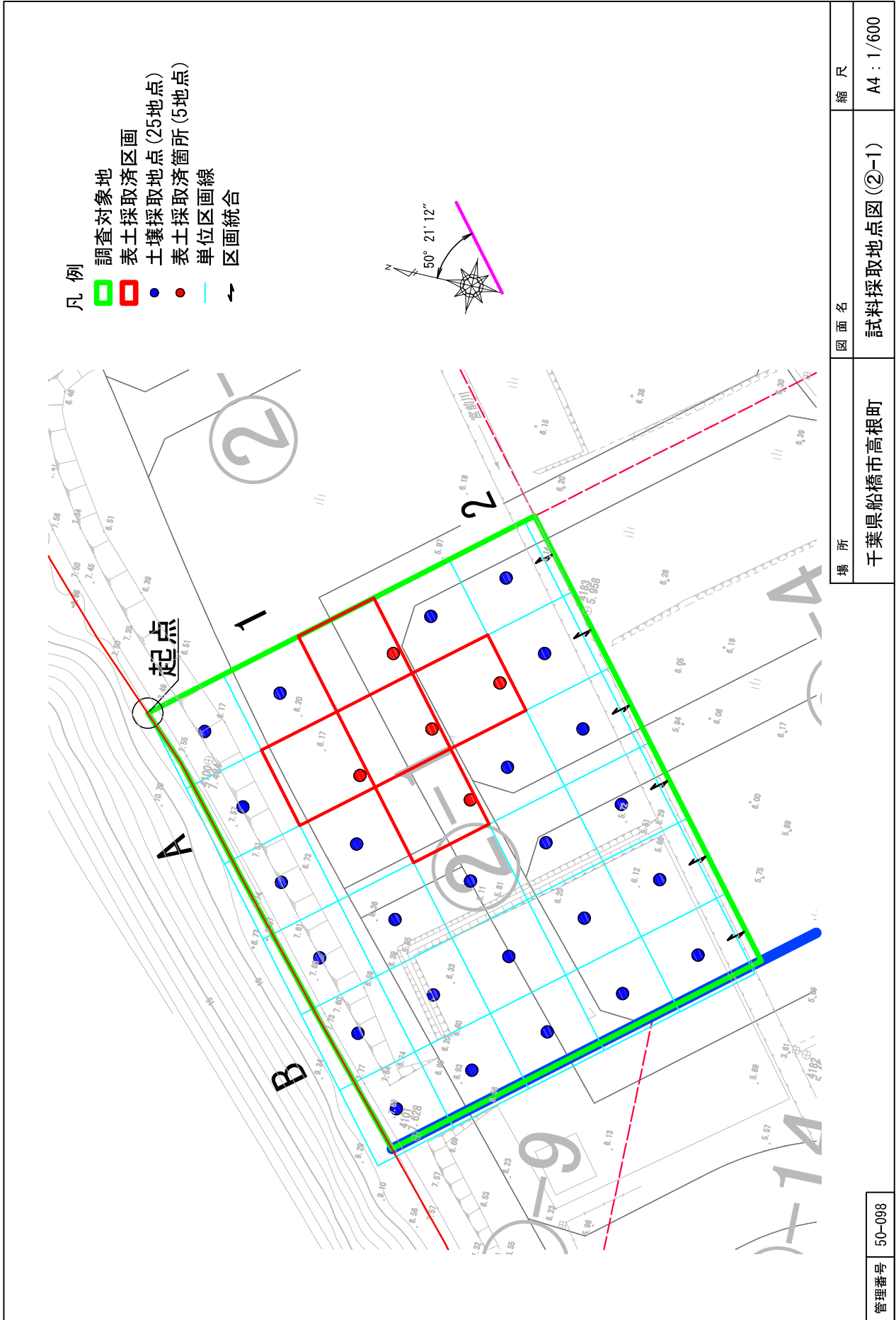


凡例  
■ 調査対象地  
■ 表土試験による基準不適合区画

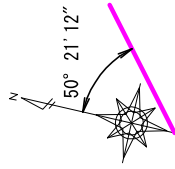


場所	千葉県船橋市高根町	図面名	全体図	縮尺	A3 : 1/2000
----	-----------	-----	-----	----	-------------

管理番号	50-096
------	--------

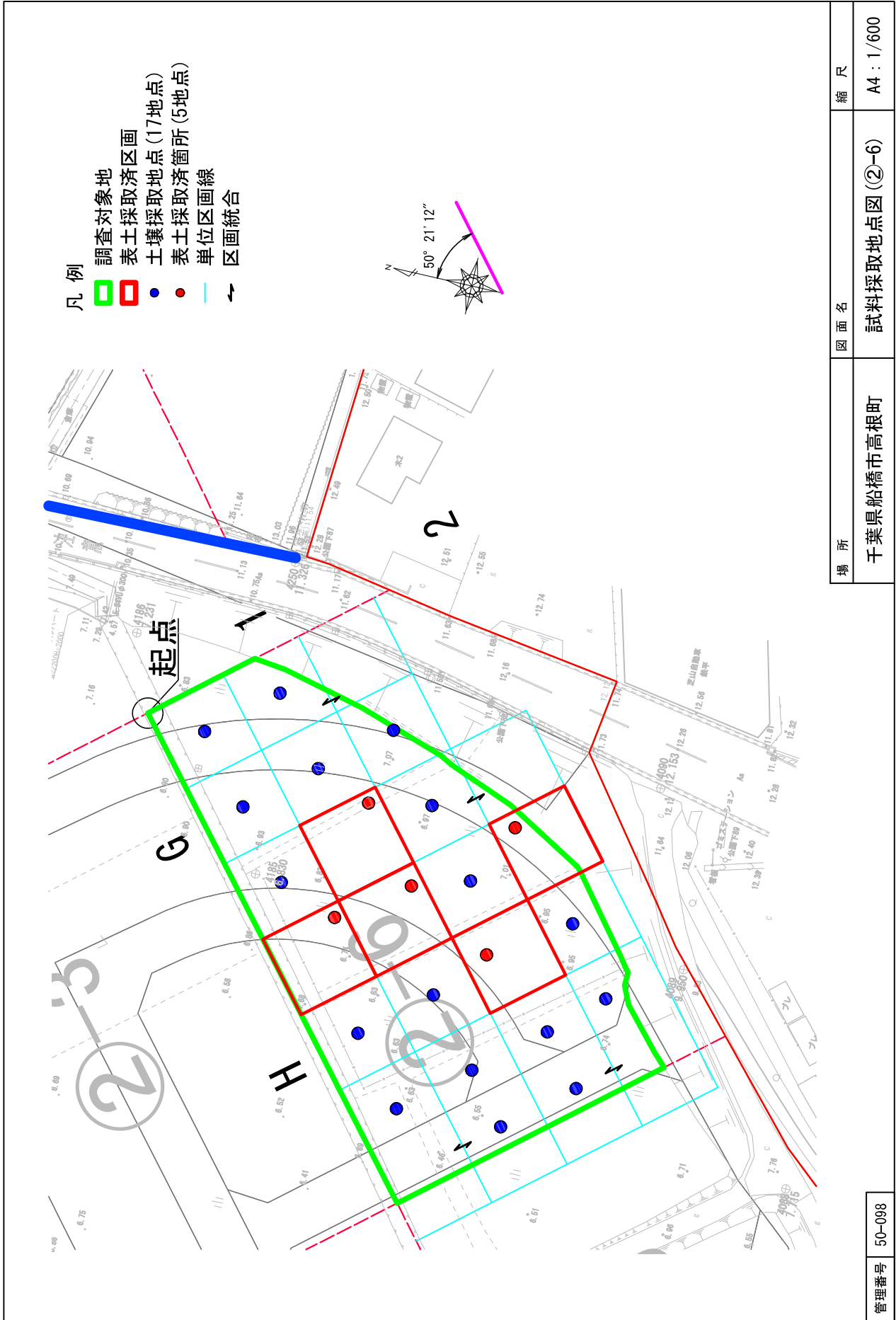


- 凡例
- 調査対象地
  - 表土採取区画
  - 表土採取地点 (25地点)
  - 表土採取箇所 (5地点)
  - 単位区画線
  - 区画統合



場所	千葉県船橋市高根町	縮尺	A4 : 1/600
図面名	試料採取地点図 (②-1)		

管理番号 50-098



場所	図面名	縮尺
千葉県船橋市高根町	試料採取地点図(②-6)	A4 : 1/600

管理番号 50-098

4. 主要数量

STEP-1

工種		数量	単位	備考
調査工	表土採取	42	箇所	52箇所-表土採取済10箇所=42箇所
鉛溶出量試験		52	検体	表土試験(表土採取済10箇所含む)

STEP-2

工種		数量	単位	備考
調査工	調査ボーリング	52	箇所	
鉛溶出量試験		208	検体	深度調査 ※最大数量として3深度/箇所+絞込1深度/箇所 と仮定し、追加分析が発生しない場合

5. 指定機械

名称	規格	台数	使用工種	備考
バックホウ	0.1m <sup>3</sup> 級	1	調査工	表土(GL-0.3m) 試料採取時
ボーリングマシン	φ86	1	調査工	1.0m以深 試料採取時

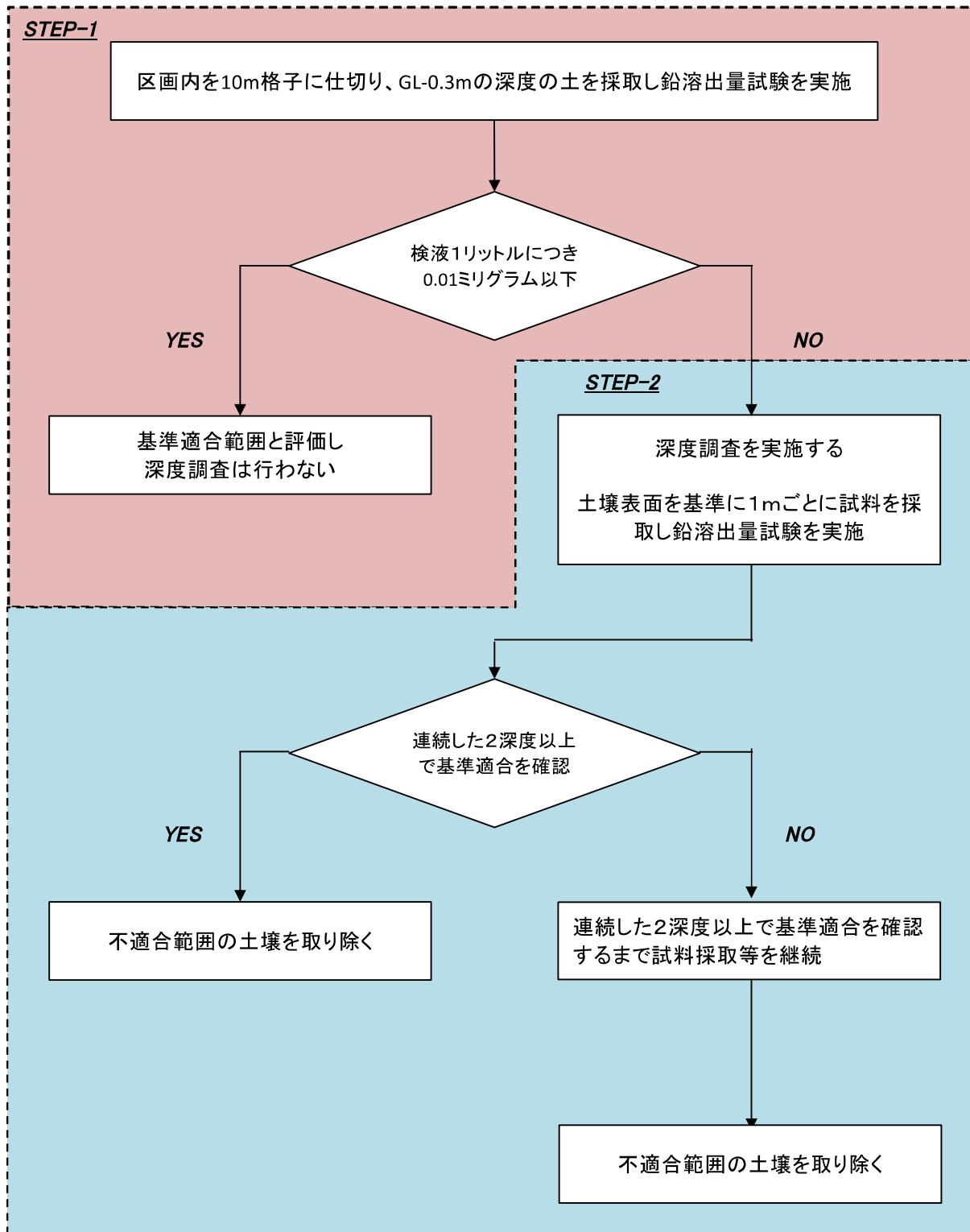
## 6. 調査方法

### 6-1. 調査フロー

追加調査の評価として

表土試験による基準不適合区画について調査方法を下記に示す。

#### 6-1-①. 表土試験による基準不適合区画(②-1、②-6)



#### 6-1-②. 表土試験基準適合区画(②-3、②-5)

基準適合範囲と評価し追加調査は行わない。

6-2. 調査内容

①表土試験による基準不適合区画(②-1、②-6)

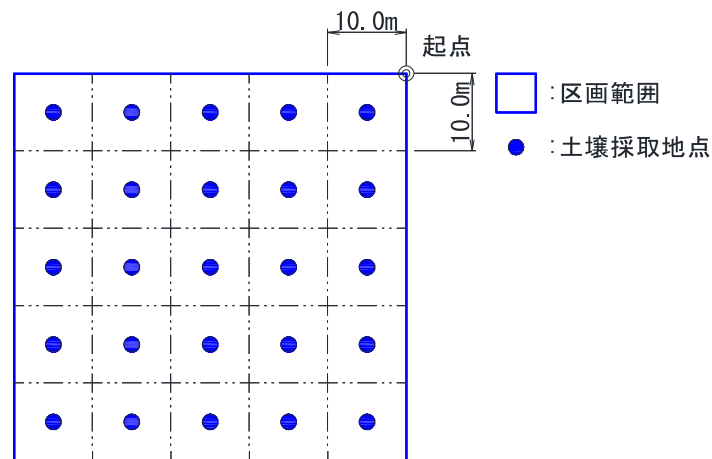
STEP-1 平面範囲の絞り込み

区画内を10m格子に仕切る。

原則として格子の中央を土壌採取地点とする。

採取深さは0.3mとし、鉛溶出量試験を行う。

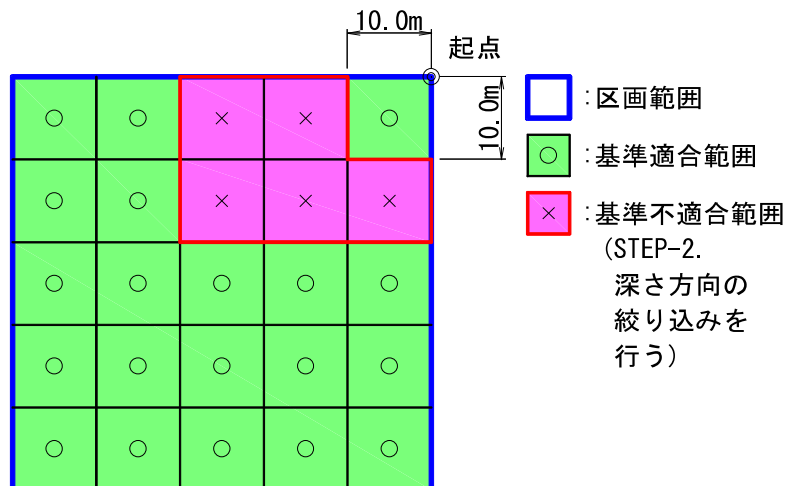
表土試験で混合分析用として既に試料採取している区画については個別に分析・評価を行う。



図①-1.10m格子割付参考図

鉛溶出量試験の結果、基準を満たす区画については基準適合範囲と評価し深度調査は行わない。

基準不適合区画についてはSTEP-2 深さ方向の絞り込みを行う。



図①-2.基準適合範囲、基準不適合範囲の例

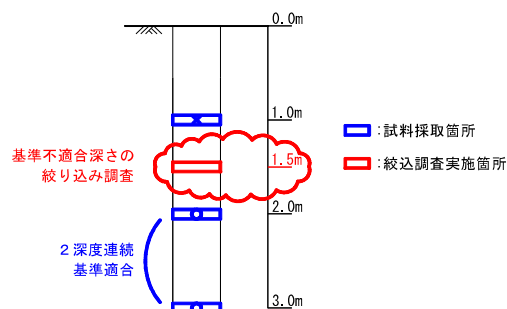


## STEP-2 深度調査(深さ方向の絞り込み)

STEP-1の基準不適合範囲について深さ方向の絞り込みを行う。

深度調査においては、原則として土壌表面を基準に一定深さ(1m)ごとに試料を採取する。

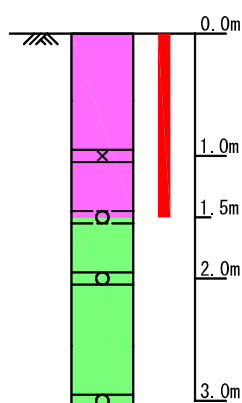
基準不適合が認められた試料採取深さと最初に基準適合となる試料採取深さとの間において基準不適合土壌の深さ絞り込み調査を実施する。



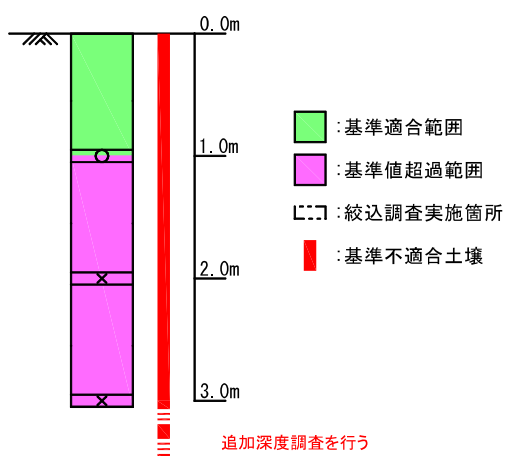
図①-3.絞り込み調査深さの例

- ・基準不適合土壌の深さは、基準不適合が認められた最も深い試料採取深さより下位の連続する基準適合となる試料採取深さのうち、最も浅い試料採取深さまでとなる。
- ・基準不適合が確認された最も深い試料採取深さより下位の連続する2以上の深さで基準不適合土壌が認められなかった場合、このうち、最も浅い試料採取深さまでを基準不適合土壌の深さとする。(図①-4.例-1)
- ・基準不適合土壌を区画ごとの各深度まで撤去する。
- ・調査深さのうち連続する2以上の深さで基準適合土壌が認められない場合は追加の深度調査を行う。(図①-4.例-2)

例-1



例-2



図①-4.深度調査の例と基準値不適合範囲

## ②.表土試験基準適合区画

基準適合範囲と評価し追加調査は行わない。